

職場で起きる問題克服のため 組合員みんなが考え実践しよう

JR東日本労働組合新潟地方本部
星山執行委員長 年頭あいさつ

組合員の皆さん、明け
ましておめでとうござ
います。
日頃から職場からた
たかいを創り出して
いただいていることに感
謝を申し上げます。
新春においても新潟
支社管内の厳しい気象
条件の中で安全・安定輸
送やお客さまの対応に



組織の強化・拡大にこ
わり実践してきました。
このようにあなたたか
いや姿勢、職場におけ
たちの存在に共感が得
られ、加入に至ったとい
うことを自信と励みに
し、労働組合として取
組むべき労働条件の向
上等を職場からのた
かひによって創り出す
ことに更に邁進してい
きます。

昨年4月16日に文字
通り全組合員と共に創
り上げ開催した労働運
動の一元化を目指す大
集会で、労働運動一元
化のスタートを切りま
した。
新潟地本の課題の1
つは明確に組織拡大
す。5年後の組織を展望
し、職場に労働運動を
残すため、労働運動の
一元化を実現するために
何をなすべきかが問
われています。

奮闘していることに心
より敬意を表します。
昨年11月に1名の平
成採用組合員の加入が
実現しました。東日本
ユニオンを選択して頂
いた新たな仲間を心か
ら歓迎すると共に感謝
申し上げます。
この間、私たちは業務
的課題の改善を通じた

労働者の期待を裏切る低額回答
悔しさと教訓を次のたたかいへ!

2017年度年末手
当は「過去最高」とい
言葉がズバリと並ぶ決
算と、JR発足30年と
いう区切りの年でもあ
り、この間、好調な業
績を創り出してきた奮
闘があるからこそ期待
感がありました。
JR東日本2017
年度第2四半期決算、単
体決算は増収増益、営
業利益・運輸収入が6
期連続の増収かつ、第
2四半期として過去最
高となり、さらに経常
利益お

一人ひとりが労働運動の主人公
あらゆる課題に全員で取り組もう

労働者の期待を裏切る低額回答 悔しさと教訓を次のたたかいへ!

2017年度年末手
当は「過去最高」とい
言葉がズバリと並ぶ決
算と、JR発足30年と
いう区切りの年でもあ
り、この間、好調な業
績を創り出してきた奮
闘があるからこそ期待
感がありました。
JR東日本2017
年度第2四半期決算、単
体決算は増収増益、営
業利益・運輸収入が6
期連続の増収かつ、第
2四半期として過去最
高となり、さらに経常
利益お

現在、全地本の問題と
なっているエルダー社
員制度についてシニア
組合員のために全組合
員でたたかひを創り出
してきました。
12月3日に地本とし
て開催した「エルダー社
員制度の誠意ある運用
を求める大集会」には世
代を超えた多くの組合
員が結集しました。
集会までのたたかひ
では本部、地本で積み
上げてきた交渉メモの
読み合わせや、エルダ
ー社員制度を実際に利
用している方への組織
を超えた聞き取りによ
って制度運用の問題点
と制度によって生まれ
ている労働現場の問題
点が明らかになりました。
国鉄改革による雇用



JR発足30年労働運動の一元化を目指す大集会

2018年元旦



私自身も本当に悔し
い気持ちで一杯でした
が、一方で私たちの組
織的なたたかひによ
って労働者が確実に増
えています。
この成果と教訓、満額

全組合員が労働運動
の主人公です。職場
からの発意・行動・実
践によって更なる組
織の強化・拡大を
実現する年にし
ていきたいと思います。



エルダー社員制度の誠意ある運用を求める大集会

不安や人生の岐路を
幾度となく乗り越え、
現在のJR東日本を創
り出した先輩方が安
心して制度を利用し、
働けることを実現す
ることを実現するた
めに来年度退職を迎
える組合員は勿論、
来年度以降も制度を
利用する組合員のため
に引き続き全組合員
で向き合っていきます。